

宮崎まちづくり活動団体情報

VOL 10



雨山城址に展望ベンチができました！

【歴史文化部会】

歴史文化探訪委員会（委員長 清水 力さん）

○雨山城址に手作りの展望ベンチを設置

令和3年8月28日（土）、今日は天気も良く、山頂では風もあり爽やかな空気の中で活動ができました。歴史文化探訪委員会では、雨山城址の整備活動として展望ベンチを作成しました。参加者は、荻野定雄さん、権田幸雄さん、梅村奉英さんと清水 力の4人でした。南部・北部・中部の方が協力して、歴史を探訪できることに感謝しています。作業後、天使の森までのウォーキングコース整備の現地調査を実施しました。近い将来、雨山城址から天使の森に向かうハイキングコースができることを目指しています。

○雨山城址石柱建立の経緯をご紹介

令和元年に宮崎まちづくり協議会が発足し、歴史文化探訪委員会が設置されました。当初、宮崎学区内の神社巡りを実施、歴史調査として戦国時代の城である、滝山城、秦梨城、小金城等の見学をしました。会員からの提案で、歴史に詳しい岡崎市文化財保護審議会委員の奥田敏春様や城郭研究者である石川浩治様の協力を得て、地元の歴史文化研究をすすめました。いろいろ調べていくうちに、雨山城は、歴史的な記録があるのに城の位置も決まっていませんでした。歴史的文献として「菅沼家譜」があります。雨山合戦の絵や柵の西側に字名として「城山ノ入」が有り、山麓には、「奥平修理のヤカタ」との記載がされていました。歴史的記録が有るにも拘わらず、雨山合戦跡の石碑と、その戦で亡くなった今川軍の菅沼定村の墓が有るだけでした。

委員会では、「他にもいろいろな資料が有るのに整備がなされていないのは、もったいない。」という声が上がるとなり、先生方の指導を受けながら雨山城址の石柱を立てることになりました。昨年の秋から、石柱を運搬する林道の整備を開始しました。当初の計画通りにいかず、岩盤に突き当たりユンボでの整備をあきらめ人力で道路整備を行いました。また、雨山城跡の砦の雑木を伐採し見晴らしを良くしました。県道から現場までの案内看板の作成や幟旗を設置。そして今年5月1日、地元や委員会メンバーの協力で、石柱を立てることができました。雨山城址の眺望が開けたことで、雨山合戦当時のことが想像できるようになりました。

砦跡付近に狼煙場と思われる地点があります。頂上では、強い風が吹いているのに、そこに立つと無風になる不思議な場所です。狼煙場の確定や急傾斜の一部に人為的な石垣の跡が認められることから、今後の調査が楽しみです。雨山城址は、歴史だけでなく、自然、植物観察や健康ウォーキングのためにも訪れる人が増えています。整備で作業をしていると、「岡崎市内から城マニアで見に来ました。」とか「この先の天使の森に行こうと思っている。」という人にも会いました。これからの雨山城址は、岡崎市雨山町を代表するスポットとして守り育てるため、維持管理と活用広報に取り組んでいきたいと思ひます。

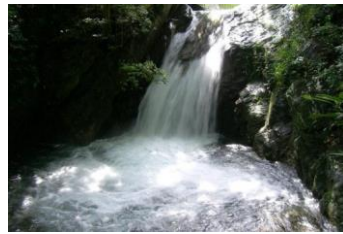
（追伸：毎月第2火曜日の午後7時から市民ホームで会合しています。皆さんの参加をお待ちしております。）

【くらがり活性化部会】

くらがり活性化実行委員会（委員長 加山 茂さん）

〇くらがり八景 第一景 不動の滝

男川が県道37号線と交差する不動橋の下にあり、矢作川水系随一の名滝といわれています。くらがり第1駐車場出口側にある布滝不動堂の裏から見下ろす事も、下まで降りて見ることもできる「布滝不動の滝」です。落差は5メートルで水量は多く、冷たく澄んだ水はしぶきを上げて落ちる姿は、圧巻です。

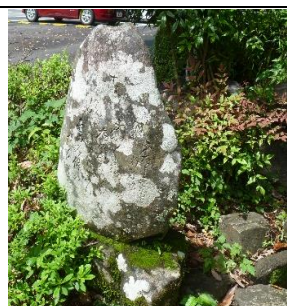


SNSにこの不動の滝が、画像加工の練習ポイントとしてよく紹介されます。中には不動橋から見える一升さん側の堰堤と間違えられます。ここは、紅葉時期にはとても映える処です。秋のくらがりの案内にもよく使われ、川の両側にある紅葉は見ごろが少しずれ長い期間楽しむことができます。

不動堂のご本尊は武田信玄にも因縁深く、お堂の横にある『布瀧不動尊縁起』に記されています。また、「ここは清浄な霊地で、滝水は澄み、古くから来訪客多く詩を綴り歌が詠じられてきた。」とも記され、お堂前には、糟谷磯丸（八十翁 磯丸）のふたうそむ（不動尊）折句歌碑があります。『ふかく猶 たのめ たのまは うけひかむ そのみ佛の むなしからねば』*折句…句頭を利用し別の意味を折り込む。この磯丸の句は「第二景 さるとび岩」にもあります。次号に掲載を予定しています。



不動堂



折句歌碑



表示石柱

<私の思い出>昭和52年不動堂の再建落慶法要で、たくさんの人が集まった。山伏の火渡りがあり、母も渡った。いろいろなことに挑戦する母であったが、足裏が水膨れにならないか心配だった。母は44年前、何を願掛けしたのか——？ 礼拝！ 今はその娘が、コロナ収束を願う拝。（明見町 清水 松代）

【宮崎学区の活動団体紹介①】

石原町のお助け隊を紹介（隊長 梅村奉英さん）

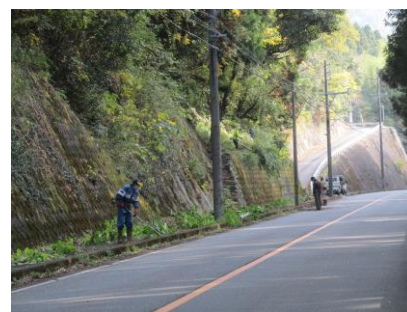
〇石原町内にできたお助け支援隊

平成29年4月、ボランティア組織「石原お助け隊」が結成されました。地域の少子化や高齢化により、石原町も草刈りなどが滞ったり、できなくなる傾向が多く見受けられるようになりました。町内のお役に立ちたいと願い、草刈りや諸問題の解決に向けた取り組みをするボランティア活動団体として、石原お助け隊が結成されたのです。



県道の視距改良作業

会員は、20名ほどで2か月に1回、町内の道路清掃やカーブの草刈りや木の伐採をはじめ、公民館や農村公園の環境整備等の活動をしています。住民相互の親睦と連帯を肌で感じながら、地域の美化に努めています。



石原町横手地内の県道清掃



宮崎小学校の草刈り

【宮崎学区の活動団体紹介②】

里山こうぼうをつくる会（会長 梅村順一）

平成16年3月、旧額田町において森林の意義や資源の循環利用を促進する森林環境整備の一環として事業がはじまりました。その主体となったのが、石原町にある瑞雲寺の裏山に配置された弘法地蔵に名を借りた「里山こうぼうをつくる会」です。地権者の同意をいただき、室合内の帝口橋周辺の整備が進められてきました。

しかし平成22年頃より活動が停滞し、草が生い茂るようになりました。その後、石原

お助け隊の発足と共に、地元有志が力を合わせ、絆の森を再生することとができました。かつての用水路を活用して、水田利用のビオトープをつくりました。今では、毎年多くの水生生物を確認できます。今年もモリアオガエルの卵の産み付けを見ることができました。また、少ないメンバーですが、山頂への作業路や林内歩道の整備をすすめています。

最近では、岡崎市スポーツ協会と連携して、MTBを楽しむコースづくりを進めています。町外の方や市街の方も参加することができます。みんなの力で絆の森を再生できることを望んでいます。あなたも一緒に活動してみませんか。

（連絡先は、090-3259-4091 梅村順一までご連絡ください。）



子ども自然体験ビオトープ調査